

17NSJに参加して

坂本留菜（福岡第2隊・北九州46VS）

私は、石川県珠洲市で開催された17NSJに福岡第2隊の上級班長として参加しました。

上級班長をしたことがなかったので、1回目の訓練キャンプの時に北九州第1団の大熊（飛）さんに、上級班長の仕事を教えていただき、自分なりにがんばりました。

出発の時に、「上班頑張ってね」などのたくさんの言葉をもらって、みんなが笑顔で帰ってこれるようにがんばろうと思いました。

バスの中もみんな元気そうで、「今どこらへんですか？」など、みんな石川県に行くのが楽しみなんだなと感じました。

会場に着いて、お昼を食べ、設営をし、ちょっと忙しい1日目でしたが、これから始まるんだという喜びと、みんなにちゃんと指示かを出せるかという不安でいっぱいでした。

台湾のスカウト2名も一緒に私たちと生活をするようになりました。最初はぎこちなかったけど、みんな積極的に話しかけに行って、すごいなと思いました。

開会式や大集会、閉会式も、みんなが笑顔だったのが記憶に残っています。

上班として、もっといろんな県の人たちと隊交歓できるように私たちベンチャースカウトが動くべきだったと思うし、班長に指示をした後、班員にきちんとその情報が伝わっているか、確認すべきだったと反省しています。

ことあるごとに、私の号笛で集合する班長達。班長一

人一人の意見をいろいろと聞いてあげればよかったなと思いました。

そして、自由に誰よりも自分勝手な行動をしていた私を最後まで信じて、頼ってくれたみんながいて、隊付がいて。いつもはやさしく、たまに注意してくれた指導者の方がいたから、

私は、福岡第2隊の上級班長をやりきることができたのだと思います。

多分、最後まで頼りない上級班長でしたが、いろんな相談をしてくれて、「留菜ちゃんが上班じゃないと嫌だ」と言ってくれて、福岡第2隊の上班になれて良かったなと感じました。

福岡第2隊のみんなに会えて良かったです。

本当にありがとうございました。

17NSJ in 能登

福岡 2 隊 ベンチャー隊 和田 慧 太

私は、8月4日から10日にかけて開催された日本スカウトジャンボリーに参加しました。6泊7日という長期間のキャンプ生活に、始めは不安が募りました。

10時間以上バスに揺られて石川県、能登にたどり着きました。半島の最北端ということもあり、北九州に比べて涼しいかと思っておりましたが、非常に熱くて砂埃が舞っていました。この劣悪な環境で1日目は慣れず、疲れ果ててしまいました。しかし、「住めば都」で2日目からは環境にも慣れていき、順当に過ごすことができました。大会期間中に三回行われたセレモニーは、全国各地からやって来た1万人を超えるスカウトたちで盛り上がっていました。最終日には、道端で会えばハイタッチするくらい、1万人の団結力は強大なものとなっていました。気が付けばもう帰りのバスに乗っていたというくらい、充実した7日間でした。

目標としていた「他県、外国から来た人々と交流する。」は、隊交歓などでクリア出来たのではないかと思います。方言や性格など、地方によってさまざまな違いがあることに驚きました。

ベンチャー隊内でも、福岡2隊内でも、団結してとても楽しい時を過ごすことができました。この貴重な体験も両親、指導者の力添えあってのことだと思えます。支えてくださった全員に感謝したいです。

17NSJに参加して

福岡 2 隊 ベンチャー班 西 優斗

僕は二回目のジャンボリーです、前回は楽しむというより目の前の事を必死でこなす二週間でした、その経験をふまえ今回は、後輩スカウトが充実したジャンボリーになるようサポートする。30人の友達を作り、楽しむという目標をかかげました。結果、みんなで元気に福岡に帰ってこれて、友達は30人以上出来ました、充実した1週間でした。と同時にサポートするとかかっていたのですが、周りの多くの方々にサポートされた結果の目標達成だったと気付かされました、両親、1団の皆様、一緒に参加して下さった指導者、現地のスタッフの方々、この感謝の気持ちとともにこれからを過ごしていきたいです。

17NSJに参加して

福岡 2 隊 ベンチャー 班 松永 知也

ぼくは、ジャンボリーに行くのは今回がはじめてでした。行く前は楽しみでもなかったし、あまり行きたくないとも思っていました。当日になっても特に実感のないままでしたが、バスに乗っているうちにだんだんとわくわくしてきました。そして、実際に参加してみると、毎日がとても楽しくて、ジャンボリーはあっという間に終わってしまいました。

出発前に『他県のスカウトたちとの交流を深める』という目標を立てましたが、交歓会をしたりして他県のスカウトと話すのはとても楽しく、関東のスカウトとは、関西でキャンプをしようという話が出る等、また会える日がとても楽しみです。初めてのジャンボリーはとてもいい経験になりました。

ジャンボリーを振り返って

福岡 2 隊 ベンチャー班 加藤 秀 征

7 日間のジャンボリーでたくさんのことを学びました。やったことのないことや、隊付の仕事、ボーイ隊への指導などいろいろあったけど本当にキツかったです。

自分はあまり指導などにむいてなかったけど、水をはこんだり、料理の手伝いをしたりしてサポートできたのでよかったです。

ジャンボリーで楽しかったできごとは、開会式と閉会式です。一万人以上の人たちとともに盛り上がって、外国の人たちもいっしょに盛り上がっていて本当に楽しかったです。

台湾から来ていっしょに活動した人たちは本当におもしろくて、楽しかったです。中国語はまったく分からないし、英語もあまり話せなくて不安だったけど、手や足を使ったジェスチャーや簡単な英語でも伝わったし、楽しんでくれたような気がしたのでよかったです。

4 年後の 18 NSJ にも参加したいです。

ボーイだけといううわさがとても不安です。

17NSJに参加して

福岡2隊 ペンギン班 松園 康平

僕が17NSJに参加し、学んだことは、友情です。僕の班は僕が班長で、男子4人、女子2人の7人班でした。生活を共にし、団結力はかなり深まりました。最高の班員が、誰一人欠けずに終わることができたことと、班長の僕についてきてくれたことに感謝しています。

参加スカウトは、ノリが良く、楽しかったです。楽しさだけではなく、班員をまとめ、暑い中での作業は大変でしたが、真面目に取り組んだので、成功したと思います。楽しむ時と、締める時のけじめをつけると物事は成功すると学んだので、日常に生かします。

支えてくれた全ての方、そして会場に感謝しています。とても楽しい1週間でした。

17NSJに参加して

福岡第2隊 シャチ班 佐藤 健祥

石川県珠洲市で行われた日本ジャンボリーに参加しました。1週間を超える長期キャンプで、メンバーの半数以上が小学6年生で自分もミスを沢山してしまいましたが、班長として良い経験ができました。楽しかったことは、海外のボーイスカウトとネッカチーフを交換したり、沢山の人たちとハイタッチやフリーハグをして交流できたことです。一番の思い出は、「ジャンボリーゲーム日本一」の班旗立てで88班中9位になったこととラストの花火がとても綺麗だったことです。また来年、アメリカで開催されるワールドジャンボリーや4年後に東京で開催される日本ジャンボリーに参加したいです。

1 7 NSJ に参加して

福岡 2 隊 タイガー班 中川 湧太

僕は 1 7 NSJ に参加をして、普段の活動ではできないような貴重な体験をたくさんすることができました。

知り合っただけでもない班員や台湾スカウトとの班活動や、台湾の派遣スカウトもいる中での長期キャンプで、ともに炊事や洗濯などをするなかで、短期間でこんなに仲良くなれるんだと驚きました。

また、隊交歓などをして他の地域のスカウトと友達になれ、次の日本ジャンボリーが楽しみになりました。

また、場外プログラムでは能登の伝統的な塩づくりを体験し、千枚田の見学をしました。会場内では、班で協力するプログラムがたくさんあり日頃の技能を活かして、いい成績を収められて、とても良かったです。

僕はこの 1 7 NSJ で得た経験をジャンボリーに行かなかったスカウトにも話を伝え、原隊での活動に活かしていきたいです。

17NSJに参加して

福岡 2 隊 シーサー班 櫻井 はな

私は福岡 2 隊 シーサー班 の班長として 17NSJ へ参加しました。私は 3 つの目標（①班長らしい行動をとること②海外のたくさんの人と仲良くなる③他県の人と仲良くなる）を持って参加しました。班長として初めての経験でしたが、班員をまとめることが出来たり出来なかった時が日々あったが優秀班が取れた時はすごく嬉しかったです。海外の人との交流は 1 回しか出来なかったけど、2 隊のワン君とチェーン君と仲良くすることができ、他県の人とはたくさん友達になることができたのでとても楽しかったです。

17NSJ が終わっても 1 隊・2 隊のグリーンバーや隊付・上班達と交流もしています。

今回、17NSJ に参加し日頃できない経験がたくさんでき、色々な団の人と一緒に活動をしたことが私のこれからの活動に生かしていければいいと思います。

最後にお世話してくださった指導者の方・家族にはとても感謝しています。

日本ジャンボリーに参加して

福岡二隊 タイガー班 宮下 煌平

僕は八月四日～十日、日本ジャンボリーに参加しました。ジャンボリーでの学びは、良い経験でした。バスで移動する時から賑やかで、皆で協力した日本一ゲーム、夜のプログラムの盛り上がり、ちょっとした事でも楽しかったです。その中で僕が一番大切だと思った事は友情です。僕は友達がいると勇気や希望が湧きます。以前、僕は中々友達が出来なかった事がありました。しかし、徐々に友達が増え、ジャンボリーでも新たな友達ができました。僕は、「友達がいる」のは心強く、幸せです。どんなにお金や権力があっても、友情が分からない人は幸せではありません。支えあえる友達がいれば、どんな困難でも乗り越えられます。いじめられても友達がいれば、心が軽くなります。だから僕は友情を大切にしたいのです。僕は、日本ジャンボリーで、更に友情を深められ良かったです。

行ってよかったジャンボリー

福岡2隊 シーサー班 池平 陽翔

ジャンボリーでは、班交流の為、福岡県と他県の班を交換しました。他には、ジャンボリー大集会に参加しました。期間中、頑張った事や楽しかった事があります。ジャンボリー大集会では、参加者に「そ・な・え・よ・つ・ね・に」のカードが1枚ずつ配られました。各隊ごとにみんな違うカードを持っている人を探し7人で本部に行くゲームでした。僕は、無事に7人そろって本部に行くことができました。頑張った事は朝食作りです。1日目は、30分寝坊しました。でも、翌日からは、5時に起きて最終日まで頑張ることができました。貴重な体験や沢山の事を学ぶ事が出来たのでジャンボリーに行ってよかったです。

日 本 ジャンボリー

福 岡 2 隊 シーサー班 宮 里 啓 太

8 月 3 日 から 11 日 まで日 本 ジャンボリーに 参 加 しまし た 。
石 川 県 まで は 小 倉 駅 から バス で 移 動 しまし た 。 ジャンボリー
会 場 に 到 着 す る と 、 そ こ は ぼ く の 想 像 以 上 に と て も 広 い 所
で し た 。

ジャンボリーが 始 ま る と 、 福 岡 から 持 っ て き た 交 換 品 を 他
の 県 の スカウト と 交 換 し て い く と 、 ネッチリング が 六 個 に な り ま
し た 。

ジャンボリーでは、お 風 呂 の 水 が と て も 冷 た く す ぐ に シャワー
を 浴 び る こ と が で き ま せ ん で し た 。

次 回 の 東 京 で あ る 日 本 ジャンボリー に も ぜ ひ 参 加 し た い と
思 い ま す 。

17NSJに参加して

福岡2隊 タイガー班 清水 駿

8月4日から10日まで、石川県珠洲市リフレッシュ村八ヶ崎で行われた第17回日本スカウトジャンボリーに参加しました。

ジャンボリーに参加してよかった事は、友達を作るのが苦手な僕が、名刺やネッチの交換をした事です。

東京の城北のスカウトとネッチ交換をして、福岡が好きと言われて、とても嬉しかったです。交換したネッチは友情ネッチとして、僕の宝物です。

ジャンボリーに参加しての感想は、きつくて、楽しいです。

いつか、世界ジャンボリーに参加したいと思うようになりました。

17NSJを終えて

福岡2隊 シャチ班 小林 裕明

僕は今回北九州第4団の福岡2隊で参加しました。

17NSJで楽しかったことは、開会式や大集会、閉会式などでした。理由は参加しているスカウトがみんなであつまり、いろいろな人や、アーティストの人が来てとても盛り上がって楽しかったからです。僕は、当日に、みんなと仲良く楽しく過ごせるかとても心配でした。でも実際に行ってみると、とても楽しく過ごせました。他の班のみんなや、ベンチャー隊とも仲良くなれたので良かったです。

今回、僕らの団だけでなく、他の団の人や、他の県の人など、いろいろな人たちが、たくさん参加していて、僕のなかで一番楽しかったキャンプだと思いました。これからも、他の団の人たちと、もっと仲良くなっていけたらいいと思いました。

第 17 回 日 本 スカウトジャンボリー

福 岡 2 隊 ペンギン班 大 津 拓 海

僕 は、初 め て 日 本 ジャンボリー に 参 加 し ま し た。ジャンボリー に 行 く 前 か ら ドキドキワクワク して いて、と て も 楽 し み で し た。

事 前 訓 練 な ど で は、他 の 班 の 人 達 と も 仲 良 く な れ て と て も 楽 し か っ た で す。ジャンボリー 1 日 目、バス での 長 旅 だ っ た け れ ど、と な り の 人 達 な ど と、話 して と て も 楽 し か っ た で す。バス の な か で も ワクワク して いた の で 夜 も あ ま り ね れ ま せ ん で し た。ジャンボリー 2 日 目、朝 は 昨 日 に ひ き つ づ き バス での い ど う で し た。昼 過 ぎ、石 川 県 リ フレッシュ 村 に 着 き ま し た。福 岡、北 九 州 と 比 べ る と と て も す ず し く 感 じ ま し た。サイト まで 荷 物 を 運 び 終 わ る と 設 営 を し ま し て。そ の 日 の 夜、空 を 見 上 げ る と 空 一 面 に 堀 が 広 が っ て い ま し た。地 元 で は な か な か 見 れ な い 星 空 を み れ た の で よ か っ た で す。ジャンボリー 3 日 目、自 分 は 食 とう で し た。昼 に な る と ショップ に 行 き ま し た。ジャンボリー げん 定 の バッチ や チーフリング な ど も 売 っ て あ り ま し た。自 分 た ち は、ジャンボリー に は 来 て な か っ た、自 分 達 の ボーイ の 隊 長 ふく長 に チーフリング を 買 っ て 帰 り ま し た。ジャンボリー 4 日 目、朝 ご は ん を 食 べ た 後、午 前 中 は、ジャンボリー 場 内 を 周 り ま し た。午 後 は、海 で ビーチフラッグ を し ま し た。班 の 全 員 が 楽 し め て いた の で 良 っ た で す。ジャンボリー 5 日 目、午 後 か ら 宗 教 ご と に 別 れ て、活 動 し ま し た。よ く 分 か ら な い 言 葉 な ど を よ ん で いた の で、宗 教 ご と の 特 ち ょう な ど を 調 べ て み た い と 思 い ま し た。ジャンボリー 6 日 目 日 本 一 を 決 め る プログラム に は、参 加 で き た の で 良 っ た で す。ジャンボリー 7 日 目、こ の 日 は、朝 か ら 隊 長 が 悪 く、サイト で ね て い ま し た。自 分 だ け プログラム に 参 加 で き な か っ た の は、

残念でしたが、体調もよくなったので良かったです。ジャンボリー最終日、全てのプログラムが終わり、撤営をして、表彰式を行いました。最優秀スカウトや、最優秀班にはなれなかったけれど自分なりに出しきる事など、できていたので良かったです。帰りのバスでは、みんなで楽しかった思い出などを語り合いとても楽しかったです。プログラムだけではなく、開会式、閉会式、ジャンボリー大集会、友好ゲーム、対交換など、様々な楽しいプログラムがあり、それぞれをぞんぶんに楽しめたことはとても嬉しかったです。今回のジャンボリーでは、他の団や、他の地域、県など知らない人達が大勢いたけれど他の知らない人とも仲良くなれて、とてもたのしかったです。また、六年生を働かせたりすることは簡単ではなく、厳しすぎず、優しすぎず、いつも同じ態度、口調で接しなければならない事を学びました。今回のジャンボリーで学んだ事、経験したことを、カブやビーバーの人に聞かせてジャンボリーの楽しさを伝えていきたいです。また、この経験をいかして隊でもしっかりと働いていきたいです。4年後の東京である、18回日本スカウトジャンボリーがとても楽しみです。

17NSJに参加して

福岡2隊 タイガー班 石川 航輝

僕が17NSJに参加して、初めて長期キャンプを行いました。以前、神社スカウト大会に参加した時は、キャンプ生活ではなかったの、初めての事でした。ジャンボリーでたのしかった事は3つあります。一つは、福岡二隊のみんなと長い間キャンプ生活をした事です。共同生活や、みんなでしたゲームはとても楽しかったです。二つ目は他の県や国の人と友達になった事です。他の県や国の人とたくさんワッペン等を交換しました。三つ目はジャンボリーでの大きな集会です。特に楽しかったのは閉会式でUNBRANFORDさんのライブです。みんな大いに盛り上がっていて、とても楽しかったです。四年後、東京でのジャンボリーも、ぜひ参加したいです。

日本ジャンボリー

福岡 2 隊 シーサー班 浦塚 □ □

僕はジャンボリーに行くのが最初はとてもいやでしぶしぶバスにのって、ぼっーとしていた同じ班の人から話しかけられそこから仲良くなり、夜中までずっとしゃべっており、気がつくとなんかもう目的地に付く手前だったのです。最初はとてもいやだとためだっていたけれど、新しい班の友達ができ、しだいにジャンボリーがたのしくなってきました。そして、ジャンボリーで一番楽しかった事は、大集会です。大集会では様々な人達がいろんな芸をしてくれたり、歌をうたってくれた事がジャンボリーで楽しかったです。僕は新しい友達ができ、ひまだったので、友達と他の県のキャンプ地に行きました。他の県の人はとても優しく、ネッチなどをこうかんしてくれました。ジャンボリーはとてもきつかったけれど今では良い思い出です。

8泊9日のジャンボリー

福岡2隊

ペンギン班 宮崎 大河

8月3日から11日までボーイスカウト活動で石川県珠洲しに行きました。4年に一度の日本ジャンボリーです。参加者は日本だけではなく台湾やイギリスの海外からも来ていて1万3千人と聞きました。キャンプサイトの入場は4日からで、ぼく達は石川県までバスで18時間位かかるので、3日の夕方に福岡を出発しました。バスに18時間乗るのは初めてです。家族と9日も離れるのも初めてで、がんばろうと思いました。石川県には次の日の昼に到着しました。キャンプサイトまで40Lのバック2つを持って行きました。重くてかたが痛くなりました。夜にシャワーに入ろうとしたら、シャワー前は行列になっていました。22時には閉まってしまいシャワーに入れませんでした。なので隊長が銭とうに連れて行ってくれました。とても気持ち良かったです。開会式の日になりました。全員広場に集まりました。タカの演技やジャンボリーのテーマソングを歌っている人達が来ていて、会場全員で歌いました。迫力があってすごかったです。そして、とても楽しかったです。

活動中、大集会をしました。いろんな団隊が歌ったりしました。一番心にのこたのは、消防隊の人たちがしていたはしごの演技がすごかったです。プログラムの陸上カーリングでは、団隊でバトルをしました。ぼくはボールを転がして30点入れました。結果は50対30で勝ちました。ぼくが30点入れていなかったら負けていたので「よっしゃー」と思いました。他の班ではフリーハグをしていました。友達は300人を超えていました。他の班との交流では名刺交換やプレゼント交換をしました。台湾から来た人は英語だったけ

れどジェスチャーと知っている英語で仲良くなれました。

夜は星がよく見えました。テントでねていて、一つのテントに5人でした。4人横になって寝れたけど、一人だけ荷物の上で寝ました。5人いっしょはせまいし、砂もテントに入ってくるので朝起きたら顔に砂がついていたので大変でした。閉会式では、ライブをして最後にテーマソングを歌いました。その日はとても疲れたのでたくさん寝ました。

帰りのバスは久しぶりのエアコンで天国かと思いました。小倉に着いた時は、朝の6時位でちょっとねむかったけど、お母さんの車に荷物をつんで家に帰りました。やっぱり自分の家が一番だと思いました。でも日本スカウトジャンボリーは楽しかったです。

ジャンボリーでのちょう戦

福岡 2 隊 シャチ班 黒坂 奈美

私は四年に一度開さいされる日本ジャンボリーに参加しました。今回は石川県すず市のりふれっしゅ村で行われ、国内や国外から約一万三千人のスカウトが集まりました。

会場に着いた時は、ここからはじまるんだとワクワクする気持ちと、生活していけるのかなという不安でいっぱいでしたが、やるしかないと思いかんぱりました。

たくさんのスカウトと話し、ワッペンを交かんしたり、地元の方言んの話で盛り上がりました。時には勇気を出して英語で話しかけ外国の友達もできました。きんちょうしてけれど、仲良くなれて楽しい時間が過ごせました。

ここではキャンプ生活なので日常生活とだいぶちがいました。まず、くーらーがなく毎日暑くてたまりませんでした。

また、良い事は自分達で作って片づける事、テントで寝て自分で起きる事、自分の荷物は自分で片づけることなど、自分で行動しなければ生活ができないという日々でした。

さらに、日中のプログラムでは、ロープ技術の日本一決定戦があり、班のみんなと協力し成功させました。順位には入らなかったけど、一人一人が努力して、できない所は協力し助けあって仲間のきずなが深まったなと感じました。

四ヶ月前に出会った班の仲間と、最初は仲良くなれるか心配でした。でも、今では仲間を信じ一つの事を成功させる同じ目標をもち、一しょに生活することができました。自分一人では、立派に過ぎしていけなかったと思います。仲間とのきずなは、私の

宝物です。この班は、ジャンボリーが終わると解散してしまうけれど、これからも私の中ではずっと仲間です。

四年後は、日本ボーイスカウト百周年と日本ジャンボリーが東京で一しょうに開さいされます。その時は、自分がみんなを引っ張っていかなければいけません。上級班長達を見ていると、指示を出したり、隊をまとめたり、早め早めの行動を心がけていました。私も、そんな風になれるようになりたいです。

そのために必要なのは、キャンプの技術、リーダーシップ、仲間との信らい関係をもつことだとおもいます。ボーイスカウトのモットーである、そなえよつねにという言葉を胸にこれからの活動がんばっていきたいです。

日本ジャンボリーが開さいされるまでには、隊長や、ボーイスカウトの方、スパンサーの方、家族が協力してくれたおかげだと思えます。こんなに大きな大会に参加させてもらい、感謝しています。

日常生活にもどっても、自分の事は自分です。こまっている人がいたら助け合う。何でもちょう戦し、そのために努力する。このことをわすれず、生活していこうとおもいます。四年後の日本ジャンボリーに、成長した姿で参加したいです。

能 登 の チ カ ラ 未 来 へ

福 岡 2 隊 シ ャ チ 班 広 渡 真 衣

「能登のチカラ未来へ」とは、今年の夏に参加した日本スカウトジャンボリーのテーマ名です。このジャンボリーは、四年に一度開さいされ、全国から一万人をこえるボーイスカウトが参加し、一緒にキャンプや野外活動をする大会です。テーマ名のように、会場は石川県の能登半島で、六泊のテント泊でした。最初にジャンボリーを申し込んだ時は不安の方は大きく、少し気が進みませんでした。しかし、事前訓練のためのキャンプに参加し、別の団のスカウトと一緒に活動するうちに、「ジャンボリーに早く行きたい。」という思いが強くなっていきました。私が所属する福岡二隊の「シャチ班」という名前は、シャチのようにチームワーク良く協力試合って活動したい、という長いをこめました。

いよいよ待ちに待ったジャンボリーが始まりました。毎日、三十五℃をこえる暑さの中、熱中症にならないように気をつけながら、プログラムを行っていきました。プログラムは「丸太登りレース」「竹材ハイタワーコンペ」などの班対抗ゲームがありました。そのなかでも私は、「ジャンボリー日本一（班旗立て）」をがんばりました。班のシンボルである班旗を高くあげるために、レベルの高い、「すじかい結び」や「トートラインヒッチ」などのロープ結びを、全員で力を合わせて成功させることができました。だんだんとチームの和が良くなってきているのを感じました。

大会中には、皇太子殿下やボーイスカウトの先ばいで、宇宙飛行士の野口総一さんが来場し、ごあいさつして下さいました。

皇太子妃殿下は、「国内外のスカウトと交流し視野を広げることは、必ず皆さんの将来に役に立つものとなるでしょう。」とおっしゃいました。

私の目標も、大会期間中にたくさんの友達を作ることでした。特に外国のスカウトと積極的にコミュニケーションをとろうと考えていました。名刺やバッチを交かんしたり、一緒に「友情ゲーム」をして、特に台湾とネパールのスカウトと仲良くなることができました。身ぶり手ぶりや簡単な英単語をつなぎあわせて、必死に気持ちを伝えました。この時、もっと英語が話せればなあとおもい、中学生になったら、一生懸命に英語の勉強をしようと心に決めました。

このキャンプでは、初めてけいけんすることがたくさんありました。家族とはなれて九日間もテントで寝泊まりしたことは、貴重な経験となりました。また、「シャワーが冷たい」「エアコンが無くて暑い」など不便な生活でしたが、スカウトの皆で協力して乗りこえることがで、何倍もうれしく楽しいことになってゆきました。

今回、能登で経験した「積極的に交流して仲間を多く作る」ことや、「困難なことも仲間と協力して立ちむかう」の二つの「チカラ」を未来へ生かしていきたいです。

「17NSJの感想」

福岡2隊 シャチ班 佐藤 穂果

私が行った「17NSJ」とは、ボーイスカウトの習い事で17回目・日本・スカウト・ジャンボリーという意味です。今年も、石川県珠洲市でありました。

私は、「17NSJ」に行き行って良かったと思うことが三つあります。一つ目は「友達」です。理由は、私は福岡2隊で福岡2隊の全員と仲良くなれたし、他の県の人とも仲良くなれた事です。私は、兵庫県に住んでいる中学生の女の子と仲良くなれました。それは、本当にうれしかったです。二つ目は「助け合い」です。理由は、行く前までも友達と助け合っていました。でも「17NSJ」では、今まで以上の助け合いが必要でした。私も友達に助けってもらったり、助けてあげたりして、今までに無い助け合いの良さを知れて良かったです。そして三つ目は「いろんな人を見れた」事です。理由は、見た人全員が初めて見た人でした。私がとてもうれしかったのは、皇太子殿下を見れた事です。いつもテレビでしか見た事がなかったのでとてもうれしかったです。後、アンブランフォードさんという岡山で活動している二人組が来てくれました。アンブランフォードさんは「17NSJ」の大会テーマソングを編曲した人です。とても歌声がキレイでした。ほかにもたくさんの方が来てくれて、うれしかったです。そして、この「17NSJ」は、八月四日から八月十日までの六泊七日のキャンプでした。でも私たちは、移動の車中泊が往復で二泊したので八泊九日間家にいませんでした。「17NSJ」の期間中は、あまり天気が良くありませんでした。

た。初めの二日間くらいは、良かったけど三日目は、台風のえいきょうで大雨でした。四日目はなんとか晴れましたが、五日目が三十五度こえてとても暑かったので活動が禁止されました。ですが、夜は毎日のように寒かったです。

私は「17NSJ」に参加して本当に良かったです。そして福岡二隊のメンバーに会えるのが最後の一回と思うと寂しいです。でもボーイスカウトを続けているとまた会えると思うのでがんばろうと思いました。ボーイスカウトやって良かった。

第 17 回 日本 ジャンボリー

福岡 2 隊 タイガー班 飯田 夏葵

八月三日の午後五時に小倉駅で集合して一日と半日かけていきました。タイガー班全員でワールドウルフというゲームで遊びました。とても盛り上がりました。就しん時間になると、みんなね始めて、一時間半ごとに、サービスエリアによって、中川班長とぼくと福岡一隊の人と、遊んだりしました。二日目は朝に福岡一隊から十三隊までが集まって決団式をしました。いろいろな人がいて中には、かみをそめている人もいました。決団式が終わって十二時三十分ごろに、石川県能登の半島につきました。自分の荷物を運んだ後に、テントやタープ、机、イスに補給物資を運びました。その後は、昼ご飯を食べてテントとタープを設営しました。以外と速く終わりました。その後は少しだけ自由でした。一隊の人が二隊に来て遊びました。その後は、台わんのスカウトが二人きてボールで遊びました。その後、中川班長にいままでのことや、ロープなどを教えてもらいました。そして台わんのウォン君とバスケットをして遊びました。とても上手でした。回りの人がはく手をしていました。夜はみんなで近くのおふろに入りました。しんじられないくらいきもちよかったです。三日目は、開会式がありました。一番おどろいたのが、皇太子様が来てくれました。日本ジャンボリーに出たことがあると言っていて、おどろきました。そのときの班長はずいぶん気を使っていたんだらうなと思いました。また野口さんも来てくれて、「ぼくが宇宙飛行士になれたのは、ボーイスカウトのおかげ」と言っていたのでぼくも目標がつけました。その後は、」

能登の力未来へ」やアンブランフォートさんの歌をアンブランフォートさんと歌いました。四日目は、大集会がありました。いろんな県が文化を見ました。その後は山田吉田や、ごとうちアイドルが来てくれてもりあがりました。五日目は、グランドゴルフをしました。次長はカッコつけるわりには、班で一、二をあらそうぐらい下手だったのでおもしろかったです。午後は、コンパス日本一をしました。最短が13分ときいたので、それより短くしよう、とがんばりました。コンパスは、じぜんに、班長に教えてもらったので、スムーズにできました。結果は六分三十八秒でした。六日目は、バルサッカーをしようと思ったけれどできないと言われたのでゴールドタッチを予約したけれどできなくなったので中川班長とぼくと、石川君と遊びました。午後は、中川班長とシャワーに行った後、中川班長と上級班長といっしょに新しく上にロープを張って三人分の全ての服を洗たくしました。閉会式は日本一でドキドキしたけれどよばれなくて残念でした。サービスエリアによっては、一隊と遊んでいました。とても楽しかったです。

第 17 回 日 本 ジャンボリー

福 岡 2 隊 タイガー班 大 西 陽 臣

ぼくは八月五日 ああ(日)から八月九日(木)まで石川県で行われた日本ボーイスカウトジャンボリーに福岡二隊として参加しました。

八月三日にバスに乗って福岡を出発しました。出発は午後六時ごろでした。その日は車中泊で、ずっとバスに乗っていました。出発するときはワクワクしていましたが、夜はいつ寝たか分からないくらい早く寝ました。次の日の昼ごろに石川県の能登半島の先端の珠洲市に着きました。ついでバスの荷物をテントサイトに運んだ後に昼食を食べました。その時イスが壊れました。なので同じ班の人になおしてもらいました。びっくりしました。

石川県に着いて二日目の夜、開会式がありました。参加している日本中のスカウトがアリーナに集まりました。最後大会ソングを歌っている UNBRANFODO が来てみんなで歌いました。一体感がありました。

三日目は、塩田へ行きました。海水をくんで運びました。すごく重かったです。四日目の夜は、大集会がありました。また、日本中のスカウトがアリーナに集まりました。今回は各地域代表の人がダンスや芸をしました。九州・沖縄圏だったけど、みんなかっこよかったです。五日目はゴルフをしました。ほかの県の人と対決して負けたけどみんなで協力しながらできてよかったです。六日目の夜は閉会式がありました。ぼくにとって今年初の花火もありました。すごくきれいでした。

最後の七日目、荷物をバスに積んでバスで帰りました。昼食に千里浜レストハウスで食べた貝飯がおいしかったです。次の日お盆の帰省ラッシュなどのせいで到着時間が一時間遅れましたが無事に福岡に到着しました。

ぼくは、今まで二泊三泊くらいのキャンプしかしてことがなく、一週間のキャンプは初めてでした。しかし、開会式、大集会、閉会式以外はいつものキャンプとあまり変わりませんでした。それは、キャンプ中いつもの仲間がいたからだとおもいます。次回のジャンボリーは、四年後東京であるそうです。その時ぼくは、高校一年生です。今度は、スタッフとして参加したいです。そのために、これからも色々な技術を身につけていきたいとおもいます。

17NSJに参加して

福岡2隊 ペンギン班 花田 敬士

ぼくは、17NSJに参加して学んだことが4つあります。1つ目は、何事も1人だけでやらずにチームでやるとうまくいくということです。2つ目は、全国の県に友達をつくれてことです。3つ目は、1人1人ががんばらないとみんなに迷わくをかけるということです。4つ目は、年上の人や上級の人に敬語を使うことです。このことを生かしてこの後の、ボーイスカウト活動を続けたいなと思いました。これから17NSJのことを紹介します。1日目、バスの中がひまだったので加藤隊付きや西隊付きやほかの友達と「人狼ゲーム」をした。とても楽しかったので時間があっという間に過ぎて行った。2日目、17NSJの会場（石川県鉢ヶ崎リフレッシュ町）に着いて昼ご飯を食べた。食べた場所が炎天下だったのでとても暑かった。そして、テントをはり晩ご飯を食べ、ねた。3日目、17NSJの開会式があり、その後にアンブランフォードの2人のライブがありとても楽しかった。4日目、17NSJ最初のモジュールプログラムがあった。午後のマーキュリーをしたかったができなかったのでとてもくやしかったです。5日目、モジュールは、ほとんどできなかったが隊交かんが楽しかった。そして6日目、を過ぎて・・・7日目、じゃんぼりーの開会式があった。おわるのは、ちょっとさみしかったけど終わったのでうれしかった。8日目、また、バスで人狼ゲームをやった。このように、ぼくは、人のために役に立ちたいなと思った。そのわけは、少しでもたくさん仕事をやった方が人の役に立つと思ったからだ。このことをいかして今後のボーイスカウト活動や18NSJに参加していきたいなとおもいました。

「ジャンボリーを終えて」

福岡 2 隊 タイガー班 成清 巧真

ぼくはジャンボリーでたくさんの経験をしました。台湾の子と交流したり、塩作りをしたりして、みんなで協力しました。どれも良い思い出になりました。

たくさんの経験の中でぼくは、熱中症のこわさを知りました。開会式や閉会式などで、近くで人がタンカで運ばれているのを見ました。改めて「熱中症ってこわいな。」とおもいました。なので、部屋の中でも細めに水分、塩分補給をしようと思いました。そしてエアコンのない中、一週間過ごしました。エアコンのない中の生活はとても暑くてエアコンのありがたさを実感しました。また、エアコンがなくてもうちわやおおぐなどして、すずしくする工夫をしました。このことを生かして、家の中でもエアコンの温度をなるべく下げずにしたいです。

さらに、ジャンボリーの行きと帰りはずっとバスの中でした。行きはあまりねむれなかったけど、帰りはよくねむれました。なので家ではもっとぐっすりねむれています。

本当にたのしくてためになる九日間でした。ありがとうございました。

「今までとちがうこと」

福岡 2 隊

ペンギン班

福岡 空

「第十七回日本スカウトジャンボリーってあまり、楽しくないな。」
というのがジャンボリーに参加して、最初に思った事でした。ぼくは、
八月三日に北九州市を出発して、十八時間もかけて石川
県の珠洲市まで行き、第十七回スカウトジャンボリーに参加し
ました。日本スカウトジャンボリーとは、ボーイスカウト活動している、
スカウトの四年に一回行われる日本大会です。ぼくは、ずっとバ
スにゆられていて、始まる前から早く家に帰りたいたっていまし
た。でも、仲間と協力して、テントを張ったり、プログラムに参加す
るにつれ、まだまだジャンボリーをつづけたいと思うようになりました。
そんな中開会式が始まりました。いろいろな都道府県から一万
三千人のスカウト達が大会を祝ってダンスや歌などいろいろなシ
ョーがあり、コンサートのようでした。大会中断には、日教宗派を
超えた集いと各教宗派の集いを行いました。教宗派を超えた
集いは、「平和」をテーマとし、「ちかいとおきて」を言いました。ま
た、各教宗派の集いは、真言宗に行き、はんにゃ真行をみんな
で唱えました。

また、友情ゲームでは、キャンプにいっしょに生活している台湾
の国の二人を含め、様々な都道府県の人や外国の人と交流
しネッチを交かんしたりして、友情を深める事ができました。夜行
われたジャンボリー大集会では、皇太子様、宇宙飛行士の野
口総一さんも出席され、野口総一さんは「スカウトムーブメントを
世界に広まっているのかを考えてごらん」と言いました。また、皇
太子様は「友情を深め国外の人と視やを広げてジャンボリーを

楽しみましょう」と言い、二人ともジャンボリー経験を一番の思い出と言いました。その後、いろいろな所の異なる文化、信条をもつスカウト同士が、その地域の特色のあるダンスや歌を歌い、世界に広がるスカウト運動を知る事で、みんなといっしょに団結することを目指す集会でした。

ジャンボリーに行かせてくれた両親、大会関係者、自然に対して感謝の心もち、大会で出会った仲間との再会を約束しました。そして、最後に花火を見た時に感じたことは「最初と違ってジャンボリーは楽しいからまだまだつづけたい」とおもうようになりました。

この八泊九日のジャンボリーで、同じ目的を持ち多くのスカウトと交流、他学年のボーイスカウト、高校生のベンチャースカウト達との交流では、自ら考え、周りを引っ張っていく行動力、言動力を学び、また、班長が一人できない事、皆で支え合っていく団結力を学びました。

ジャンボリーの中で心に残ったこと

遠賀3団

本川凜果

私は、第17回日本スカウトジャンボリーの中で時に心に残った事があります。それは、水シャワーです。初めにシャワーに行った時は、シャワー室に入るまではずっとお湯だと思っていました。水シャワーを浴びた時、お湯だと思っていたシャワーが水だと分かったら、余計に冷たく感じました。でも、そんな思い出も今では、とてもよい思い出です。

ジャンボリー

遠賀3団

村上愛海

私は、17NSJに行って、たくさんの思い出ができました。一つ目は、バスです。ゲームで盛り上がって楽しかったです。二つ目は、夜です。流れ星を見たり、いろいろな話をしました。三つめは、シャワーです。冷たくて心臓がとても苦しかったです。四つ目は、休憩時間です。ゲームとかをして楽しい時間になりました。ほかにもここに書ききれないほど楽しいことがあり、良い経験になりました。チームワークを活かして、またジャンボリーに行きたいです。

日本ジャンボリーを終えて

遠賀3団

手嶋美嘉

私は、ジャンボリーでたくさんの思い出ができました。一つは、県外や海外のスカウトと交流ができたことです。いろいろな話をしました。そして、開会式、ジャンボリー大集会、閉会式のライブでは、会場全体で盛り上がり、とても楽しかったです。休み時間や夜は、みんなでたくさん話をして、同じ隊の仲間と友情を深めることができました。プログラムでは、班で協力することができました。ジャンボリーで学んだことは、これからのスカウト活動に活かしたいと思っています。

思い出に残ったジャンボリー

遠賀3団

西崎理桜

私がジャンボリーに行って一番思い出に残ったのは、隊交歓です。大阪のサイトに行き、最初は緊張していたけど大阪の人たちが気軽に話しかけてくれたので、緊張がほぐれていろいろな話を話すことができました。また、ワッペンなども交換することができたのでよかったです。このジャンボリーを通して、第2隊の人や海外の人とも仲良くなれたので、うれしかったです。

ジャンボリーで学んだこと

遠賀3団

有馬幸作

僕がジャンボリーに行って学んだことは、集団行動の大切さと友情です。集団行動は、班が一つになっていないとできないことです。「ゲーム日本一」の班立ては、それをよく表していました。友情に関しては、台湾人のチェン君と友達になりました。僕は英語が得意ではありませんが、一生懸命に伝えようと頑張ったら通じました。チェン君は、帰るときに「謝謝」という言葉を教えてくれました。「ありがとう」という意味だそうですが、台湾に行ってチェン君に会いたいなと思いました。この気持ちが本当の友情だということがわかりました。このジャンボリーで貴重な体験ができたので、4年後の東京で開かれるジャンボリーにも行きたいです。

ジャンボリー

遠賀3団

藤本大輝

僕は、8月3日から11日まで石川県に行きました。1日目は夜18時に出発しバスの中で寝ました。2日目は会場に行ってテントを張りました。3日目は東京の人と交流しました、夜は開会式がありました。そしてシャワーをしました、水でした。4日目は岡山県の人と交流しました。この頃僕は帰りたと思っていた。夜は海水の温泉に行きました。5日目は大阪の人と交流しました、大阪の人はテンションが高かったです。6日目は大集

会でした、熱中症で倒れる人がたくさんいました。最後に宇宙飛行士の野口さんが来ました。7日目は台湾の人と交流しました、英語がわからなかったです。夜には閉会式があって皇太子が来ました。メガネがなかったのでよく見えませんでした。ガードマンと長い車は見れたので良かったです。8日目は朝4時に起きて出発しました、その時はまだ一ヶ月位居たいなと思いました。行って良かったです。四年後には東京であるので行きたいと思いました。